

今回は、米日を代表する、共に軍用モデルベースの高性能四輪駆動車、GM・ハマーH1とトヨタ・メガクルーザーのカタログをご紹介します。

清水 道明

GM・ハマーH1

ハマーH1は、ハマーブランドのオリジナルモデルで、湾岸戦争で一躍有名となったアメリカ軍の軍用車、通称ハンヴィー (Humvee) のシビリアン(民生用)モデルです。

ベースのハンヴィーはAMジェネラル社が生産するHMMWV(High Mobility Multipurpose Wheeled Vehicle) = 高機動多用途装輪車両、M998四輪駆動軽汎用車とその派生型で、1985年からM151ケネディジープの後継車両として配備されました。

1992年のハマーH1市販化にあたっては、現米国カリフォルニア州知事、映画俳優のアーノルド・シュワルツェネッガー氏の働きかけがあったとされます。実際、彼は市販第1号のオーナーであり、一時は3台ものハマーH1を所有したと言われます。(6台という説もあり)

一般的なステーションワゴンの他、4ドアオープン、2ドアピックアップ、希少なスラントバックなど、多くのボディバリエーションが存在します。

走行中にも車内からタイヤ空気圧を自在に調整できるCTIS(Central Tire Inflation System)を備えるなど、ミルスペックそのままのオフロード性能と高い耐久性、類まれな独特のルックスで、オフロードファン、ミリタリーファンのみならず、多くの芸能人、セレブリティをも惹きつけました。

2006年に生産終了となりましたが、軍用ハンヴィーの生産は継続されています。

トヨタ・メガクルーザー

1993年の第30回東京モーターショーで参考出品され、1996年1月に発売された多目的車で、陸上自衛隊採用の高機動車の民生版です。

ベースとなった高機動車は、1993年から配備され、主な用途は普通科歩兵一個班(10名)の移動のための兵員輸送であって、基本的に非装甲車両です。

発売時には、その軍用車ベースという成り立ちや大きさ、外観から「和製ハマー(H1)」とも呼ばれましたが、開発の主眼は災害時の救援や人命救助などの業務用途であって、いわゆるSUV的なクルマではありません。主なユーザーも、販売が落ち着いてからは、JAFや消防、自治体となりました。

5090mmの全長はまだまだ、全幅2170mm、ホイールベース3395mmもある巨体ですが、リアにはハマーにはない最大12°の逆位相4WS(4輪操舵)を装備しており、最小回転半径はハイラックス・サーフ(5.7m)より小さい5.6mに抑えられています。因みにハマーH1は8.1mにも達します。

また、ギヤを介してハブを駆動することでドライブシャフトの上方オフセットを可能としたハブリダクション機構を採用し(ハマーH1も同機構)、37インチの特殊サイズ大径タイヤとあいまって420mmという圧倒的な最低地上高を確保しています。

加えて、リアのみならず、ハマーH1と同様の、タイヤの空気圧を2段階に減圧できるタイヤ空気圧調整装置をオプションで備え、高い不整地走破性能・登坂性能を誇ります。

2001年8月に生産終了となりましたが、こちらも、自衛隊向け高機動車の生産は継続されています。

4-Passenger Wagon.
最低地上高は16インチ(406mm)

4-Passenger Open Top.
フロントガラスは2分割式

ラジエターが傾斜して搭載されている

MEGA CRUISER

フロントガラスは一枚ものでワイパーは3本

4WS機能により後輪が前輪とは逆方向に操舵されているのわかる

大きなボディの割にはコクピットはタイト。運転席というより操縦席?

- <主な参考文献>
- ・世界の主力軍用車(2003) 三修社
 - ・4x4MAGAZINE(1996/3, 4, 5, 9) フォーバイフォーマガジン社
 - ・CAR and DRIVER(1996/4/10) ダイアモンド社
 - ・NEWS from TOYOTA1996 No.3(1996/1/9) トヨタ自動車(株)